

新聞スクラップに挑戦



6月1日に塚本新聞店の塚本成男様をお迎えして、5年生が「新聞スクラップ」に挑戦しました。

5年生は「吉田探究（総合的な学習の時間）」で「防災」について学んでいます。この学習に切実感や実際の世の中とのつながりを強めるために、新聞を活用することにしました。

そこで、塚本新聞店さんで毎年、夏休みに実施している「新聞スクラップマラソン」に、日常的に挑戦することにしました。塚本様から、記事の選び方、スクラップノートへのまとめ方などを指導していただきました。



子供たちは、さすが!「防災」を学習しているだけあって、「南海トラフ地震」の記事を選ぶ子も多くいました。その他にも、新型コロナウイルス感染症の記事を選ぶ子など、「社会問題」に意識をもった記事選びをしていて、参観にいらしていた静岡新聞の記者の方が、「小学生なのに、選ぶ記事が大人っぽいですね」と驚いていたほどでした。

また、新聞記事を読むときに「国語辞典」を取り出して、言葉を調べる子もいました。

これにも静岡新聞の方が、「記事を読むときに、国語辞典を使う小学生をはじめて見ました!」と驚いていました。

「防災」「辞書活用」「新聞スクラップ」とそれぞれの学びが、別々に行われるのではなく、ひとつながりになって、子供たちの中で活きていることを私たちもうれしく感じました。



塚本新聞店様からは、スクラップブックを1人1冊ずついただきました。また、1日から4日までの4日間、5年生の子供たちに1人一部の静岡新聞を届けていただきました。

また、今後は、新聞づくりソフトも3月まで無料で提供していただきます。塚本新聞店様の、このような御協力に忝えられるよう、子供たちと学びを深めていきたいと思ひます。